家庭園芸

"秋植え球根の花後"

いよいよ新緑の季節です。庭木も一日ごとに緑を増して目にしみるようです。

また、一方では、花壇や鉢植えの秋植え球根のチューリップ、ヒヤシンス、スイセンなどは、すでに花も終って葉を残すのみです。花のあるうちは目を楽しませてくれ、何かと手入れもやってきましたが、終ってしまうと、つい放任しがちのものです。

もし、来年もということになりますと、これからの手入れが大切です。

地中にある球根は、これからが一番肥りだす時期ですから、葉を大切に、できるだけ長く生きているように管理します。とくに鉢植えでは、根を傷めないように、そっくり鉢からぬいて庭に植え込んだ方がよいでしょう。

また、種をつけないように、チューリップは花首のところから摘みとり、ヒヤシンスは花の房を手でしごきとり、花軸は残しておくようにします。

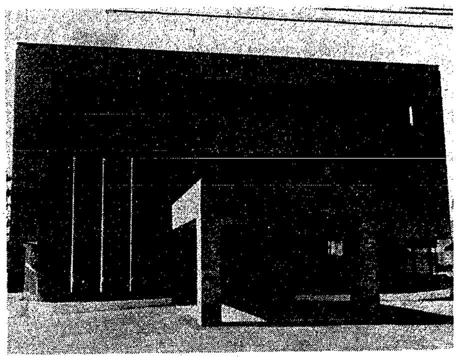
チューリップは、これからもボトリチス病といって葉に斑点のでる病気が出やすいですから、できればダイセンなどの薬剤を散布してやることです。

ご相談は 園芸センター(☎86―1034)へ。月曜日は休園です。(月曜が祝日のときは火曜日休園)

市民福祉の活動の場に

有明福祉会館15日オープン

"市民福祉の活動の場に"と、市社会事業協会（高橋助七理事長）では、創立五十周年を記念して西有明町に「有明福祉会館」の建設を進めてきました。このたび完成し、五月十五日からオープンします。


市民福祉活動の拠点として期待される「有明福祉会館」

この会館は、市民の福祉活動の拠点として、また市民が気軽に利用できるつどいの場として設置されたものです。

福祉を主体としたこの種の機能を合わせもった施設は、関屋分水以西では最初のもの。

建設場所は、市内西有明町一番三号（有明線有明東バス停付近）。有明福祉タウンの一角です。

建物は、鉄筋コンクリート造り三階建て、延べ面積七百三十六平方㍍。障害者のための"国際シンボルマーク"通用施設（障害者が容易に利用できる建物、施設）です。障害者のためのエレベーター、トイレも備え付けてあります。

総工費は約二億円。内部は、一階が施設ボランティアの交流の場となるボランティアサロンと調理実習室、二階は、各種講座のための会議室やお茶、お花などの技能習得室、相談室、三階が、民生児童委員室と協会本部関係室―などとなっています。

利用者は、市民を対象としています。利用時間は、月曜日、祝日を除き、毎日午前九時から午後九時まで。利用料は、一部（調理実習室使用時の実費）を除き無料です。

会館で行われる主な事業は次のとおりです。

①ボランティア活動に関する相談・あっせん、講演会、調理実習②健康福祉講座（六月から"健康百話"を予定）③健康相談（毎週一回）―など。

申し込み、問い合わせは、有明福祉会館（☎31―〇一九六）へ。

学校自慢 ㊿

楽しい七夕大会

～松浜小学校～

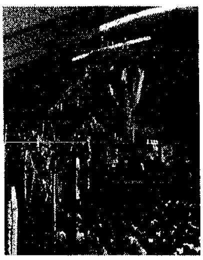
私達の学校は、阿賀野川の河口にあり、水ときれいな空気に恵まれた環境にあります。ただ、新潟空港に近く、以前は校舎のま上を飛行機が通り、そのそう音で、時々授業が中断していました。でも、去年みんなが待ちに待っていた防音そう置がついた、りっぱな校舎が完成し、そのなやみも解消されました。すばらしい校舎にふさわしい子どもになるために、私達浜っ子約千四百人は、勉強にスポーツにがんばっています。

特に、児童会では、毎年いろいろ行事があります。こいのぼり大会、七夕大会、クリスマス大会などです。

なかでも、七夕大会は、笹竹にたくさんのかざりをつるし、その中で劇をしたり歌を歌ったりして楽しみます。

大島知未（六年）

メモ 松浜三―十九―一、明治五年創立、児童数千四百十人、高橋正樹校長


笹竹にかざりをつけて―七夕大会

西地区公民館 春の講座

会場 西地区公民館（内野町）
申し込み 電話で西地区公民館（☎61―〇〇三二）へ

市民大学講座

時間 午後七時～九時
定員 四十人（先着順）
経費 運営費五百円

月日	テーマ	講師
5・21	開講式	市民大学実行委員会
6・4	健康と食事	新潟県栄養士会長 齊藤 フミ
6・18	内野の史跡をたずねる	郷土史研究家 武田 克忠
7・2	家族関係	㈶モラロジー研究所 湯浅 信成
7・16	成人病と運動	信楽園病院研究部長 平沼 由平
8・6	身近な法律	簡易裁判所 判事 鈴木 正英
8・20	電気製品の上手な使い方	㈱新潟ナショナルサービス新潟サービスステーション 所長 佐久間 正夫
9・3	原子力発電のしくみ	新潟大学工学部教授 川口 千代二
9・17	初歩のマイコン	新潟大学工学部教授 阿部 武雄
10・1	年金について	新潟市国民年金課給付係長 高山 誠
10・15	新潟市の将来	新潟市企画部長 高橋甲子
10・22	閉講式	市民大学実行委員会

婦人大学講座

「生きている」ことの実感を求めて、ボランティア体験を考えてみませんか。

時間 午前十時～正午
定員 二十人（先着順）
経費 運営費五百円

月日	内容	講師
5・29	開講式 ～これからの学習～	市社会教育主事
6・5	ボランティアは誰のため	有明福祉会館 大平 芳昭
6・12～7・3	ボランティア体験期間 ～活動内容・日時は自分で選びましょう～	
7・10	誰もがハンディキャップを持っている	H.アンリー
7・17	身近なボランティアを考える	市民生委員
7・24		市社会教育主事

＜西地区市民学園＞

定員 各30人

コース	実用ペン習字	料理
日時	5月22日～10月30日 毎週金曜日 午前10時～正午	5月26日～10月27日 第2・4火曜日 午前10時～午後1時
講師	長谷川 敏子	山崎 佳子
経費	月1,500円程度	月1,000円程度

鳥屋野地区公民館 春の講座

会場 鳥屋野地区公民館
申し込み 五月十五日までに住所、氏名、年齢、電話番号、勤務先を記入し、返信用封筒（六十円切手貼付）を同封し鳥屋野地区公民館（〒950 新和113―30、☎85―三三七二）へ

市民教養講座

「郷土の文化財を探る」

時間 午前十時～正午。午後のスポーツ活動のある日は午後三時まで
対象 五十人

「郷土の文化財を探る」

月日	テーマ	講師
5・29	新潟県の文化財	三条高校教頭 玉木 哲
6・5	考古学からみた越後～菖蒲塚周辺の遺跡～	県文化行政課埋蔵文化財係長 金子 拓男
6・12	下越の城館	前県政記念館館長 伊藤 正一
6・19	信仰と民俗をめぐって	中条高校教諭 中野 豈仁
6・26	伝承文芸としての昔話	民話研究家 水沢 謙一
7・3	陶芸、手芸の美	陶磁史研究家 石川 秀雄
7・10	越後の伝統工芸	燕市文化財調査審議委員 青木 照平
7・17	ふるさとの石碑をたずねて（現地研修）	新潟高校通信制教諭 若月 忠信
7・24	会津八一の人間的魅力	
7・31	拓本に魅せられて石碑の周辺	横越小教諭 伏見 長一郎
8・7	採拓の技法 (1)	
8・28	石碑の探る(2)（現地研修）	
9・4	新潟県の民家	県文化財保護指導員 山崎 完一
9・11	（現地研修） 民家をたずねて 渡辺邸・市島邸など	
9・18	閉級式 "みんなで語ろう、文化財の魅力を語ろう、別れのつどい"	

※スポーツ活動（午後）
- 5・29 仲間作りのゲーム
- 6・12 社交ダンス（マンボ）
- 6・26 ウォークラリー
- 7・10 ゲートボール
- 7・31 社交ダンス（ワルツ）

ギター教室

―初心者―

日時 五月二十五日～七月十三日毎週月曜日午後六時半～八時半
対象 二十五歳未満で、初めてギターを弾く人十五人
持参品 ギター※ない場合はあっせんします。

レクリエーション教室

時間 午後七時～九時
対象 野外活動、レクリエーション、仲間づくりに興味のある人三十人
参加費 二千円
講師 日本レク協会、県レク協会指導者

月日	テーマ
5・20	ゲーム、ソングを通してフレッシュな出合いを！
6・3	クラフト～手作りを楽しもう～
6・17	楽しい集いの演出法
7・1	野外活動のプログラミング
7・4	キャンプファイヤーの実施
7・19	野外料理、野外活動（アドベンチャーゲーム）
8・8	手作りで楽しいパーティを！

文学講座

「郷土と文学」

日時 五月二十五日～十一月九日毎月第二・四月曜日午後一時半～三時半（計十回）
対象 一般成人四十人
内容 ●薄命の文学者…松倉米吉、大関松三郎●無名の文学者―西方国雄●有名の文学者―坂口安吾、会津八一、小川未明など
講師 若月忠信（新潟高校通信制教諭）

自然と語る市民セミナー

時間 午後六時半～八時半
対象 一般成人四十五人

月日	テーマ	講師・助言者	月日	テーマ	講師・助言者
5・22	自然の観照	前南高校教諭 池上 義信	8・7	北アルプスのロマン	中野 祐典
5・29	わたり鳥	中之口中学校教諭 中野 祐典	9・18	ニホンザル	
6・14	（現地研修）中条、乙宝寺方面砂丘と植物	ガイド 池上 義信	9・25	きのこと人間の関係	日本菌学会会員 松田 一郎
6・26	尾瀬の自然	中野 祐典	10・16	九州の火山	中野 祐典
7・17	夏山の魅力		10・23	自然と人間	講師を囲んで話し合い

登山講座

日時 6月3日～毎週水曜日午後6時半～8時半。ただし、実技は日曜日を中心にその前後を予定
対象 市内在住在勤の健康な若者40人
講師 三富一弥（新潟ピオレの会）、藤井洋（新大山の会）ほか
経費 資料代1,500円程度
申し込み 5月16日までに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、返信用封筒（60円切手貼付）を同封のうえ、市中央公民館登山講座係（〒951 西堀通6）へ

月	講義内容	月	講義内容
6月	開講式、登山の心がまえ	7月	夏山反省会
	登山用具の選定について	8月	岩登りの基礎
	山の第1歩（五頭山の沢登り）	9月	山の天気Ⅰ・Ⅱ（天気図の読み方など）
	地図の読み方		
	山での健康と救急法		秋山山行計画Ⅰ
	登山計画のたてかた		岩登りの基礎（角田山岩登り）
7月	夏山山行計画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ―登山計画書の作成―		秋山山行計画Ⅱ・Ⅲ―秋山での注意点―
		10月	秋山山行（上越の山）
	夏山山行（飯豊山縦走）		登山講座反省会

手軽にできる「籐手芸講習会」

日時 5月13・27日、6月10・24日、7月8日、午前9時半～正午
会場 南部公民館（関屋金鉢山）
内容 タオル掛、ミニ花かご、一輪差し、くずかごの制作
定員 20人（先着順）
講師 村山啓子
経費 800円
持参品 エプロン、目打、タオル、ものさし、ハサミ（生花用）
申し込み 電話で南部公民館（☎66―4939）へ

市民映画友の会A.T.C.5月例会 小津安二郎の名作

「生まれてはみたけれど」

日時 5月14日午後6時半～
会場 中央公民館5階ホール
協力費 500円
連絡先 神戸（☎84―7928）へ

少年少女映画教室

～入場無料～

日時 5月30日午後2時～4時
会場 音楽文化会館ホール
映画 「素晴しい風船旅行」「豆象武勇伝」
申し込み 5月16日までに往復はがきに住所、氏名、電話番号、参加人数を記入し、市立視聴覚センター（〒951 西大畑458―1、☎22―7400）へ

太陽を見る会

日時 5月30日午後2時～3時半
会場 市立総合教育センター
対象 小学生以上の人30人（先着順）
内容 太陽についての話と黒点等の観測
申し込み 5月16日までに往復はがきに住所、氏名、電話番号、参加人数を記入し、市立総合教育センター（〒951 西大畑458―1、☎29―0233）へ

曽野木婦人学級

日程

月日	学習主題	講師
5・29	"母を語ろう" ～かまどのうたをテキストにして～	女性史クラブ会員
6・19		
7・10		
8・7	～いま女性の置かれている立場を見つめよう～	人権擁護委員 船引 静子
9月	合成洗剤について考えよう	未定
10月	日本の障害福祉の実態をさぐる	県民協婦人部会長 中谷 千代
11月	施設見学	
12月	施設見学後の話し合い	未定
2月	抹茶のいただき方	未定

時間 午後1時半～3時半
会場 曽野木公民館
対象 曽野木地区在住の婦人で、継続して受講できる方30人
申し込み 5月16日（必着）までに住所氏名、年齢、電話番号を明記し、返信用封筒（60円切手貼付）を同封のうえ、曽野木公民館（〒950―11 曽川甲294）へ